

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

**事業名 【新】アグリパーク栽培技術サポート拠点整備事業費
(R8分)**

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農政課 スマート農業推進係 電話番号：058-272-1111(内4023)

E-mail : c11411@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 補正要求額 6,693 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	6,693	3,346	0	0	0	0	0	0	3,347
決定額	6,693	3,346	0	0	0	0	0	2,600	747

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

農家人口が急速に減少する中、県民の食料を安定的に確保するためには、革新的な生産方式の導入により、更なる省力化・省人化を実現した上で、農業者の経営規模拡大を推進するとともに、多様な担い手（アグリパーク）がスマート農業技術等を活用し、小区画な農地を活用し営農するモデルを示す必要がある。

(2) 事業内容

現スマート農業推進センター内の実演ほ場は非耕作地であるため、かん水設備が無く、閉じ野菜や水稻などの栽培実証ができない。そこで、実演ほ場を露地野菜や水稻も生産可能なほ場に再整備する。

また、学識経験者のアドバイスのもと、実証ほ場で利用する良質堆肥づくりを行うための良質堆肥生産施設を整備する。

再整備した実演ほ場において、良質堆肥を利用した、少量多品目栽培技術の実証やアグリパークのスマート化を進めるためのモデル実証を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県1/2、国庫1/2（地域未来交付金（地域未来推進型）の活用を想定）

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	658	ほ場管理用消耗品等
工事請負費	5,395	アグリパーク栽培技術サポートほ場・堆肥施設整備工事費
業務委託料	640	アドバイス業務委託料
合計	6,693	

決定額の考え方

財源については、県債を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2023～2027年度）
II - 3 - (3) - ② 「未来を支える農業・農村づくり」の推進
- ・ぎふ農業活性化基本計画（2026～2030年度）（仮称・令和8年3月策定予定）
I 新たな担い手の確保
1 多様な主体の参画促進

(2) 国・他県の状況

- ・アグリパーク栽培技術サポート拠点は他県での事例はない。

(3) 後年度の財政負担

- ・農業用水等の利水に伴う負担金等は不要

(4) 事業主体及びその妥当性

県有施設であることから、県が事業主体となることが妥当

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
令和8年度中に整備を完了し、令和8年度後期から、アグリパーク栽培技術サポート拠点として利用する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R6)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
アグリパーク構想を通じ農業に参画した主体数				10	(累計) 550	

○指標を設定することができない場合の理由

（記入用紙面）

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
(評価)	

(今後の課題)

- 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

- 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
アグリパーク栽培技術サポート拠点として少量多品目栽培の実践や指導者研修の場として活用する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	